

## 教育は税金によって作られている

遠軽町立遠軽中学校 三年 丸山 未来

毎年四月になると、勉強が得意な人にも苦手な人にも教科書が配布される。毎日のように使われている教科書はボロボロになってしまいが、それもいい思い出。私たちが当たり前のように学校に通い、授業を受けることは、働いて税金を納めている大人によって成り立っていると思った。だから、税金と教育の関係について調べようと思った。

教育に使われる税金というと、教科書の無料配布や教職員への給料が思い浮かぶ。私たちが普段使用している教科書は、約五百円くらいする。しかし、それらを税金で補っているため、家庭は負担せずすむ。また、調べ学習などで使うタブレットも同じである。私たちの学校生活のたくさんのもの税金によって支えられていることを知った。当たり前を受けていた授業は、とてもたくさんの人に支えられていると知り驚いた。

私たちの学校は今年からエアコンが使えるようになった。その前までは、夏になると、教室はとても暑く、多湿で集中して授業を受けることができなかった。がエアコンが使えるようになってからは、涼しい環境で勉強ができている。前までは、ただ嬉しいと思っていたが、今考えてみると、税金のおかげだった。私たちは、税金に支えられて良い環境で勉強できていると気づかされた。

また、私は学校でおいしい給食を食べている。毎日違う献立でお腹いっぱい食べれる。給食費も税金から補助が出ている。税金によってお腹いっぱい給食が食べられてとても感謝の気持ちでいっぱいになった。

税金によって支えられている教育は、個人のためだけでなく社会全体をよりよくする大切なことである。公立学校では授業料が無料教科書が無料配布など金銭的に困っている家庭の学生でも勉強を諦めなくてすむ。また、場所や地域での教育格差を減らせる。このようにたくさんの人が教育を受けることによって将来の社会全体につながっている。平等に教育を受けることは、将来の社会全体をよくすることにつながっていくと思う。

教育には、税金が欠かせないものである。税金と教育は、とても密接な関係であった。これまで当たり前を受けていた授業は税金があるからこそできていたと気づかされ、改めて感謝の気持ちを持った。これからは、より一層勉強に力を入れようと思った。将来私は税金をしつかり納め、支えられる立場から支える立場になりたいと思った。